

平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協
2019年 5月8日 発行
電話：03-5842-6035 FAX：03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

【東京→広島コース】

原水爆禁止国民平和行進2日目は港区立芝公園からスタートしました。出発前には小林和江さん（東京→広島コース通し行進者）を中心に行進参加者の方々に国際青年行進リレー支援募金のカンパの呼びかけがあり、32,245円のカンパを集めることができました。皆さんご協力ありがとうございました。そして引き続き国際青年リレー行進支援募金にご協力をよろしくお願いします。

行進は大田区の六郷橋の広場で無事に国民平和行進中央実行委員会・東京実行委員会から神奈川平和行進懇談会へ引き継ぐことができました。引き継ぎ集会では、神奈川からの挨拶があり、そのあとに東京の挨拶、そしてリレー旗の引き継ぎ・通し行進者の挨拶がありました。神奈川のとても温かな出迎えに、疲れが吹っ飛び、元気をもらえ、そして同時に平和行進のすばらしさを実感できる引き継ぎになりました。

神奈川の行進は六郷橋を出発し、川崎駅前や銀柳街などを行進して、稲毛公園で到着しました。駅前周辺なので人が多く、平和行進をもの珍しそうに見ている方や、信号待ちをしている方の中にはこちらに手を振って応援してくれる方、自転車から降りて「頑張ってください！」と声をかけてくださった方もいました。やはり一番は平和行進を見かけたら、その場で一緒に歩くということが嬉しいことですが、仕事や用事などで平和行進に参加できない人も多くいると思います、その中で私たちはそのような人たちに少しでも平和について考えてもらえるような行進をしていくことが大事だと思える行進でした。到着地点の稲毛公園では、川崎区の水谷吉孝区長が出迎えてくださり、挨拶をいただきました。「昭和は戦争の時代であり、平成は少なくとも一応は日本が参加した戦争はない時代だった。令和の時代には核兵器が廃絶できたといえるようにしたい。簡単ではない道のりだが、今日のような皆さん市民一人ひとりの行動がその道をつくと思う」といった激励のお言葉を頂くことができました。そして、神奈川県原爆被災者の会からの発言などがありました。行進の中で良かったアピールに賞状を渡す「アピールコンテスト」などの独自の取り組みもあり、とても内容の濃い行進でした。（日本原水協事務局・嶋田侑飛）

